

さんのうやまみなみづかこふんぐん

三王山南塚古墳群3号墳 第2次調査

—遺跡の範囲確認のための発掘調査—

【三王山南塚古墳群の概要】

三王山南塚古墳群は、田川と鬼怒川の氾濫原に挟まれた上三川町域から続く南北に長い舌状台地の南端に所在します。この台地上には古墳時代前期の古墳と後期の80基以上の古墳が点在していることが確認されています。

これまで、今回の調査区の付近では、三王山南塚1・2号墳、朝日観音1号墳など、古墳時代前期の古墳が調査され、2号墳は出土した土器の特徴から、3世紀末～4世紀初めに造られた県内最古級の古墳であることが明らかになりました。

また、この古墳群が造られる前にこの付近には弥生時代末期の集落(三王遺跡)が所在したことも判明しています。

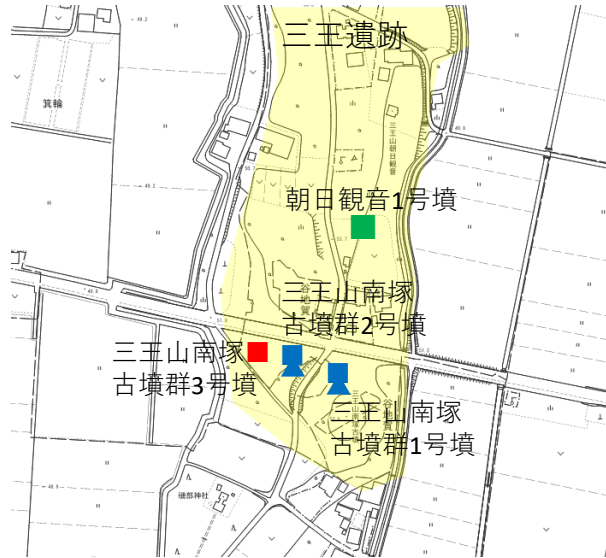
【令和4年度の調査概要】

2号墳と3号墳の一部については、平成元年度に南河内町史編さん事業で調査が行われ、2号墳と3号墳は互いに重ならず、3号墳の周溝を部分的に埋め、2号墳の周溝を掘ったということが報告されています。

令和3年度から3号墳の形状や規模、東側の隣接する2号墳との新旧関係を再度確認するため調査を継続しています。

その結果、3号墳は周溝の幅が1～2m、深さ1m前後、周溝底面から墳丘頂の高さ1.6m、墳丘の規模が15m程度の方墳であることが判明しました。

今年度の調査でも2基の古墳の周溝が重複せず、3号墳の周溝を埋め戻して2号墳の周溝を掘ったことが再確認できました。このことから2号墳よりも3号墳が古く、3号墳の周溝が埋まっていない時期に2号墳を築造したことが再確認できました。



三王山南塚古墳群の位置

遺跡名	墳形	大きさ
三王山南塚古墳群1号墳	前方後方墳	全長46m
三王山南塚古墳群2号墳	前方後方墳	全長50m
三王山南塚古墳群3号墳	方墳	東西14m 南北15m
朝日観音1号墳	方墳	1辺15m

三王山南塚古墳群概要

古墳の形からわかること

栃木県では、古墳時代前期(3世紀末～4世紀)に前方後方墳や方墳が造られました。その後、古墳時代中期(5世紀)以降になって、前方後円墳や円墳が登場します。

ぜんぼうこうほうふん
前方後方墳



ほうふん
方墳

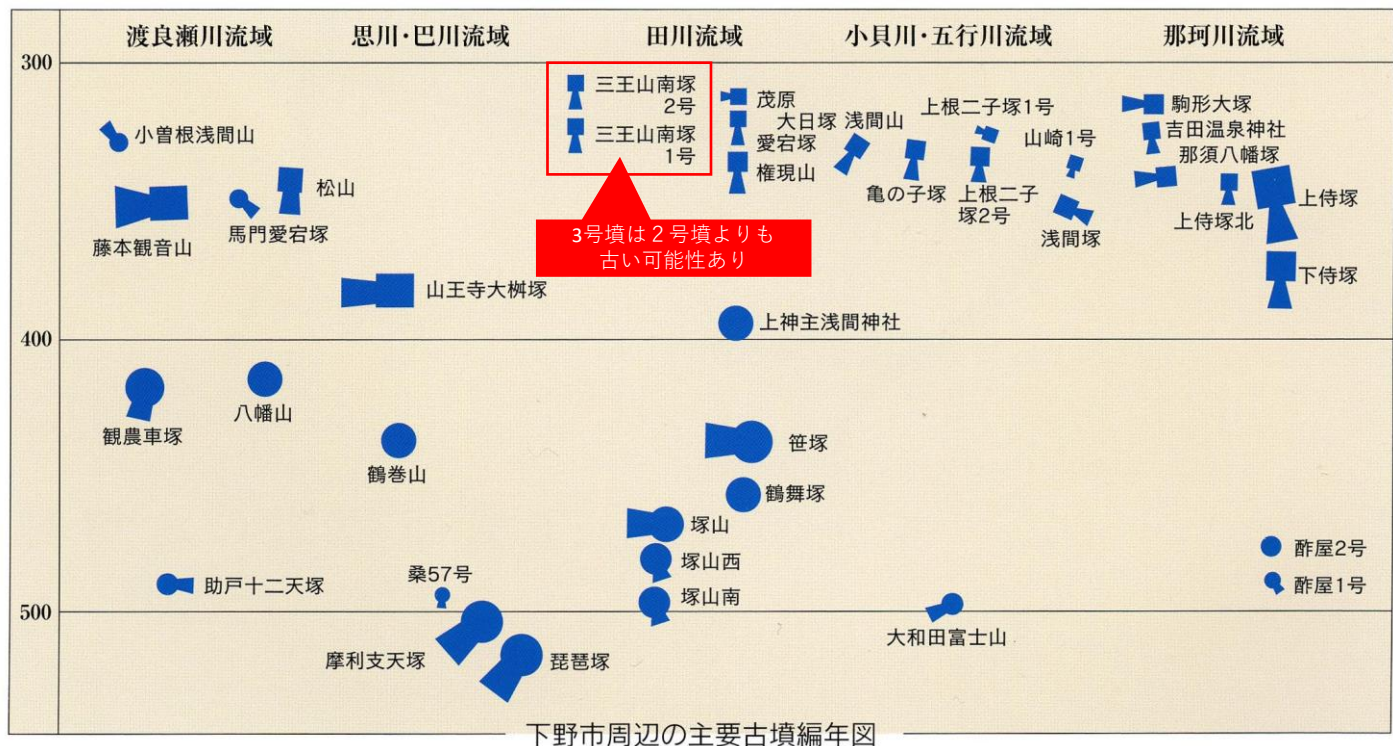


ぜんぼうこうえんふん
前方後円墳



えんふん
円墳





三王山南塚古墳群3号墳第2次調査説明資料 (2023.3)

編集・発行 下野市教育委員会事務局 文化財課

〒329-0492 栃木県下野市笹原26

TEL 0285-32-6105

E-mail bunkazai@city.shimotsuke.lg.jp



『下野市周辺の古墳群Ⅱ』下野市教育委員会より転用



東の飛鳥プロジェクト

下野市では歴史・文化を活用したまちづくりに取り組んでいます。